

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ地方)	在リヨン領事館事務所 リヨン日本人センター治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 他	2008年9月30日	2008年9月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び領事館ルート	
調査項目:	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

- A、一般的傾向
- B、地区別 犯罪集計結果:補足文書 1
- C、多発の手口と場所の特定、防止策 :補足文書 2

A、一般的傾向

今月は一軒家に一人暮らしのお年寄りが、郵便配達人を名乗る男に襲われ重傷を負うという事件が報告されている。少しでも怪しいと思われる訪問者の対応には十分に注意し、ドアチェーンをかけたまま応答するなどしたい。また夜中に市内を歩いている間に襲われるという事件も複数報告されている。比較的治安の良い地域でも夜半や早朝に一人歩きすることは避けたい。

[補足文書 1]

B、地区別 犯罪集計結果

[補足文書 1]

2008年9月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アン県	イゼール県	ロワール県	合計
すり																	0
空き巣			2		1					1			1	3	1		9
置き引き																	0
引ったくり								1		1							2
万引き										1							1
強盗										1		1	1	1		1	5
窃盗(車・自転車)					1					2							3
カージャック																	0
車内盗難																	0
猥褻行為・強姦			1		1												2
いたずら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為	1	1		1	4	1	4	2	3	10	1	2	4				34
詐欺(カードなど)										2			2				4
拉致・誘拐																1	1
破壊・放火							2			2	1		1		1		7
ストーカー																	0
麻薬取引・所持			1										1	1	2		5
飲酒/無免許運転										1						1	2
その他	1		1				1			1			1				5
合計	2	3	3	1	7	1	7	3	3	22	2	3	11	5	4	3	80

備考欄: リヨン東→ Meyzieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons
 リヨン西→ Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon
 リヨン南→ Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison
 リヨン北→ Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

[補足文書 2]

C.多発の手口と場所の特定・防止策（新聞による報道記事から）

① 一人暮らしのお年寄りが自宅で襲われる

- 9月8日午後、ヴェニシュー市の住宅街で若い男が86歳の一人暮らしの女性宅のインターホンを鳴らした。男は郵便配達人で書留郵便を配達に来たと主張。被害者は午後に郵便配達があるのを不審に思ったが、男は仕事量が多くて午後になったと被害者を説得。女性が門を開けて書留を受け取ろうと外に出ると、男は女性の口を塞ぎ無理やり家の中に女性を連れ込んだ。犯人は女性に殴る蹴るなどの暴行を加え現金を要求。たまたま約束をしていた隣人が女性宅に電話をしたが誰も出ないのを不審に思って女性宅を訪ねたところ被害者が血まみれになって倒れているのを発見した。普段は静かな住宅街での犯行に周辺住民はショックを受けた。（プログレ紙 9月13日付）

このような乱暴な犯罪は稀であるが、偽の肩書きを使った詐欺事件ははまだ続発している。少しでも不審に思ったらドアチェーンをかけたまま対応するなどの注意が必要である。

② 車ごと拉致される

- 9月5日午前5時30分ごろ、サン・ティエンヌに住む35歳の男性が赤信号で停車したところ、突然男女二人組が車内に乗り込んできた。二人組は男性を刃物で脅し現金を要求。男性が現金を所持していないことを伝えるとリヨンまで運転するよう強要。犯人らは乱暴で酒に酔っていたようだという。被害者が二人組を乗せてリヨンに到着すると犯人らはある建物の前に停車するよう指示。犯人のうちの一人が建物内に入り荷物をとってくると再度サン・ティエンヌに向かうように要求。男性は言われる通りに車を走らせたが、途中ガソリンスタンドで停車した際に犯人らの目を盗んで徒歩で脱出。警察に通報した。（プログレ紙 9月9日付）その後の調べにより犯人は暴力を伴う窃盗の罪で刑務所にいた37歳の男とその妻であることが判明。男は7月26日の一時外出許可を得て外出した後、刑務所に戻っていなかった。（プログレ紙 9月13日付）

車を運転中、特に人通りの少ない早朝や夜間は必ずドアをロックし周囲の状況に十分に注意すること。赤信号で停車中、駐車時などは特に注意が必要である。

③ 夜中の暴力を伴った窃盗事件

- 9月14日午前2時ごろ、リヨン7区で18歳の少女が二人組の男に脅されハンドバックを奪われた。（プログレ紙 9月16日付）
- 9月12日午前2時45分ごろリヨン7区で19歳と20歳の少女二人組が25歳の女性を襲い、旅行かばんを奪って逃走した。（プログレ紙 9月16日付）
- 9月9日午前0時過ぎ、ヴィルユバンヌ市で30歳の男性が15歳と24歳の二人組の男に襲われた。犯人らは男性に殴る蹴るなどの暴行を加えGPS、携帯電話などを奪った。（プログレ紙 9月11日付）
- 9月21日早朝4時30分ごろ、37歳のイタリア人女性がリヨン2区カルノ広場付近を歩いていたところ近づいてきた若い男にかばんを引たくられ殴られた。女性が殴られた勢いで地面に倒れると、犯人は女性の衣服を剥ぎ取って暴行を加えようとした。たまたま通りかかった通行人が女性の悲鳴を聞いて警察に通報。駆けつけた警察によって犯人が逮捕された。犯人は18歳のイラク出身の男であるが詳しい身元ははまだ判明していない。（プログレ紙 9月22日付）

比較的治安の良いとされるリヨン市内でも、出来るだけ夜中や早朝に一人で出歩くことは避けたい。出歩く際には周囲の状況に十分に注意し出来るだけ人や車の通行のある大通りを選ぶこと。

⑤ 危険な運転の車に注意

- 9月9日以降、警察は故意に交通事故を誘発した赤いプジョー405を探している。事故の発端はアン県ピュジニオンの県道D302で同日午後1時ごろ。県道を走っていたフィアット・プントをプジョー405が路肩から追越しようとした。プントを運転していた女性はこの行為にあわてることなくそのまま走行。少し先のロータリーで再び405の運転手は女性運転手を挑発。少し先で急ブレーキを踏んで女性運転手を驚かせようとした。女性はこれにより車のコントロールを失い車は側溝に衝突し停車。女性に怪我は無かったが精神的に大きなショックを受けた。犯人の車はそのまま逃走。警察ではこの車の行方を捜査している。（プログレ紙 9月11日付）

このような危険な運転の車は残念ながら頻繁に見られる。挑発してくる車に出会った場合には挑発に乗らず、路肩に停車するなどしてやり過ごす方が良い。そのまま相手にすると上記のように故意に事故を誘発するような行為ををたらくことがある。このような車は無免許、無保険で走行している可能性もあるので賢くやり過ごすこと。

2.テロなどに関する一般治安情報

テロなどに関する報告は特に無し。

3. 在留邦人の被害事例

ローヌ・アルプ地方における被害報告は特になし。(在リヨン領事館ソース)

4.リヨン、ローヌアルプ地方今月の出来事

① ローヌ川通行中の観光船が橋に衝突

9月8日午後、ローヌ川を通行中のスイス国籍観光船(乗員30名、客員13名)がリヨン2区のパスター橋に衝突。観光船は自力で橋下から抜け出したが橋のアーチのセメント一部分が落下。専門家による鑑定を待つ間パスター橋は3.5トン以上のトラック通行禁止の措置がとられた。鑑定の結果、橋自体の耐久性に問題が無いことが判明し、交通規制も解除された。(プログレ紙9月9日付)

② マンゲット地区での緊張した一夜

9月5日夜、ヴェニシュエ市マンゲット付近では緊張した一夜となった。何者かが18時ごろ警察の車に向けて投石。投石の犯人グループのうち一人が逮捕されたが、その他のグループメンバーが警察の車に襲いかかるなどして車のガラスが割られた。二人目の犯人が逮捕されたが、その後夜中にわたって他の警察のパトロール車らに向かっての投石が繰り返された。(プログレ紙9月6日付)

③ ダンスのピエンナーレ

9月14日、リヨン市中心部でピエンナーレ・ドゥ・ラ・ダンスのパレードが開催された。隔年で行われるこの行事は年々発展をみせ20万人もの観客が見守る中のパレードは大成功を納めた。(プログレ紙9月15日付)

④ リヨン市、ヨーロッパ文化首都に選ばれず

マルセイユ、ボルドー、トゥールーズと並んで2013年ヨーロッパ文化首都のラベル獲得を競っていたリヨン市であるが、結局マルセイユ市が選出された。ジェラルド・コロン氏をはじめとする関係者は落胆の色を隠せなかったが、選出されたマルセイユを祝福した。(プログレ紙9月18日付)

⑤ ヴォー・エン・ヴラン市で発砲による殺人事件

9月16日夜、ヴォー・エン・ヴラン市で26歳の男性に向かって何者かが発砲、男性が死亡するという事件が起きた。同日19時ごろ、アパートのある建物前で男性が立ち話をしていたところ、背の高い男が男性らに接近。言い争いになった後、男はブルゾンの下に隠し持っていた拳銃で被害者の男性に向かって発砲。その後近くに停車していた車にのって逃走したという。警察の調べによると、この犯罪は同地区に住む2家族間の抗争の一環であるとの見方が強まっている。(プログレ紙9月18日付)

⑥ ポージョレー地方でブドウ収穫が始まる

9月15日、ポージョレー地方でのブドウ収穫が始まった。夏の間の悪天候によって不動畑に大きな被害がでたことは記憶に新しいが、晴天に恵まれたこの日より3週間にわたってワイン製造のためのブドウ収穫が行われる。(プログレ紙9月16日付)

5.その他の情報

① ترامウェイと乗用車の衝突事故

9月10日午前7時30分ごろ、サン・プリエストで軽自動車がトラムウェイT2線と衝突事故を起こした。運転手の51歳の男性は頭部に怪我を負った。衝突の衝撃で大型電気メータが損傷。修理の間トラムウェイの運航は中断し、バスによる代替運送が行われた。(プログレ紙9月11日付)

トラムウェイとの接触事故は定期的に報告されている。トラムウェイ運航地区では、普段より一層注意が必要である。

② 金属およびトラック積荷の盗難グループ逮捕される

9月16日午前6時ごろ、145名の憲兵らがリヨン東部にて金属およびトラック積荷の盗難グループ逮捕のた

めに動員した。2008 年はじめより、リヨン東部の複数の企業が相次いで空き巣の被害に遭っており、被害総額は 20 から 30 万ユーロにのぼっていた。捜査を続けていた憲兵隊は定住化したジプシーらによって構成されたグループによる犯行であることを突き止め、今回の逮捕劇につながった。調べによると、このグループは運送会社から積荷を盗んでいたほかにもサン・ボネ・ドゥ・ミュール市の会社から 720 キロのアルミニウムを盗み、サン＝プリエストの工場からも 6.7 トンの銅を盗難、それをサン＝プリエストの別の会社から盗んだトラックに積んで逃走したことが判明している。また、ミオン市の会社からは 6 トンのステンレスを盗むなどしていた。この捜査により 20 から 25 歳の男ら 6 名が罪を認めており逮捕された。(プログレ紙 9 月 19 日付)

③ 中学校教師が生徒に暴行を受ける

9 月 19 日、リユー・ラ・パープの中学校で 39 歳の女性教師が 15 歳の生徒に平手打ちを受けるという事件があった。午前 9 時ごろ、女性教師がフランスの授業中にこの生徒の態度を注意。それに反抗した生徒が教師に詰め寄りもみあいとなり、教師は椅子から転落。同時に生徒は教師に平手打ちを加えた。隣の教室で授業をしていた男性教師が介入し、生徒を押さえつけた。その後通報を受けて駆けつけた憲兵隊に身柄が渡された。憲兵隊が身体検査を行ったところ、同生徒のかばんから歯止め付き折りたたみナイフが発見された。(プログレ紙 9 月 20 日付)

④ 盗んだ小切手をインターネット上で不正使用

9 月はじめ、リヨンとその近郊およびアヌシーに住む 3 人の男らが盗んだ小切手を不正に使用したとして逮捕された。アヌシーに住む犯人の一人が、隣人の郵便受けを物色した際に小切手帳を発見。小切手帳はアヌシーの医師のものであり、犯人グループは医師の名前、住所などを使って eBay 上にアカウントを作成。その後プリペイド式携帯電話を購入し身分証明書を偽造。この手口で eBay 上で携帯電話 3 台、コンピューターなどを購入したとされている。ある日 eBay で同犯人グループらと売買の交渉をしていた売り手が偶然被害者の医師に直接連絡したことから犯行が発覚した。(プログレ紙 9 月 11 日付)

何度も繰り返すが、小切手帳などは最寄の機関にサイン付き書留などで送付するように手続きすること。郵便受けは誰でも開けることが可能である。

⑤ 一酸化炭素中毒

気温が急に下がり、朝夕暖房を入れる機会もあるが、今月になってすでにリヨン 4 区とカルイール市で 2 件の一酸化炭素中毒事故が報告されている。毎年フランスでは約 6 千人が一酸化炭素中毒になっており、300 人が死亡している。暖房を本格的に入れる前に定期点検を忘れないようにしたい。(プログレ紙 9 月 30 日付)